**国際交流イベント報告書**

氏 名：李徳潤

|  |  |
| --- | --- |
| イベントタイトル | 奈良散策　Nara Walking Tour |
| 日時・場所 | 2025年06月08日(日)12時55分～17時15分　奈良市 |
| 想定人数／参加人数 | 想定人数：最大20名　応募人数：18名  参加人数：7名（ローカル生3名　留学生4名）  事前キャンセル8名、無断キャンセル3名 |
| 内容 | 奈良市内を散策するイベントで近鉄奈良駅→奈良国立博物館→奈良公園で鹿と交流→東大寺の大仏殿を見学→東大寺出口解散。 |
| 振り返り | 以下10点で定量評価を行います  ・交流：(8) 7人でちょうどいい感じになり、交流がだいぶ深まった。（参加者18人全員参加の場合、逆に人が多すぎて、グループ分けするしかなく、強引に分けられた班内で無理をして交流するしかなかったかも）、(-2)足にケガがあり、歩くペースが遅い参加者が一人いて、その参加者はグループ全体についていけず、職員さんと李と交流するしかなかった    ・進行：(5)イベントの遂行自体はできたものの、イベントのキャンセル者が異常に多く、対策を打つ必要があった。  また、キャンセルフォームのデータをExcelで開いた時のデータとフォーム自体のデータが同期しなかったゆえ、李がExcelの情報しか見ておらず、事前キャンセル8名のうち、7名のキャンセル情報全部把握できず、当日電話でお邪魔して直接にキャンセル情報を知らされた。    　　また、各スポットで一旦解散し、再び集合する時間は指定されたものの、参加者がスタッフよりも時間を守れていたと見受けられる。  例えば、14:20までに解散場所へ集合すると指示した場合、スタッフは14:15分から集合場所へ誘導するのが普通です。  (具体例で言うと、奈良仏像館の集合時間が過ぎても、また中に一緒に回っていたスタッフと参加者のペアが残っていた)  ・スタッフの心構え：(7)当日は下見や準備段階とは異なり、参加者に対して責任をもって行うものであるべきです。孤立した参加者への対応は、スタッフとしての基本です。SIEDに入って間もないというのもあると思いますが、先輩に注意されて「へ？私がやるの」とかの反応ではなく、やるのです。 |
| 次回開催にむけての  改善点 | １，大人数でどこかの建物に入る際、まず全体の人数を把握し、それを正確に館内スタッフの方に伝えておくこと  ２，事前キャンセル情報を主担当1人で確認するのではなく、複数人で合意を得ること  ３，リマインドメール送った後に、参加者から「承知しました。当日参加します」とかの返事があった方がいい（今回は確かに一人の参加者がメールを一切見ずに、イベントに応募したこと自体を忘れてしまったらしい）  ４，校外イベントをやる際、もっと時間をスタッフ内の意思疎通と情報共有に使うべきだった。これから現3回生が就活の本番を迎えると思いますが、今年の秋のイベント数はどうなるものでしょう |